

大和郷だより

大和郷だより第一四号
平成二十七年七月一日発行
文京区本町五丁目九番一七
電話三九四四一〇四三
一般社団法人 大和郷会

◆二〇一八年度 通常総会
及び第一回評議員会報告◆

五月二十六日(土)
大和郷会 会議室
二〇一八年度 通常総会と
第一回評議員会が開催されま
した。

―資源回収への取組の歴史―
大和郷リサイクル・環境事
業の活動は、先人達の情熱と
尽力によって現在の原型が作
られ、私達はこれの良き伝統を
引き継ぎ発展させていく必要が
あります。そこで今回は九十
周年記念誌として発行された
「大和郷遠近物語」からリサ
イクル・環境事業関連の寄稿
を次のとおり紹介致します。

〔一六区〕 菊井明子さんの文
「平成三年大和郷で自主的
に資源回収運動を始めた時に
文京区にはまだリサイクル課
がなかった。その頃おなじみ
の「ちり紙交換」は来なく引
り、新聞配達店も古新聞の引
取りを中止、新聞・雑誌・ビ
ン・缶すてはゴミとして出
すより仕方なく、東京にはも
う数年前でゴミ処理場がなく
なる、清掃の責任主体である
都もマスコミ大騒ぎをして
いた。

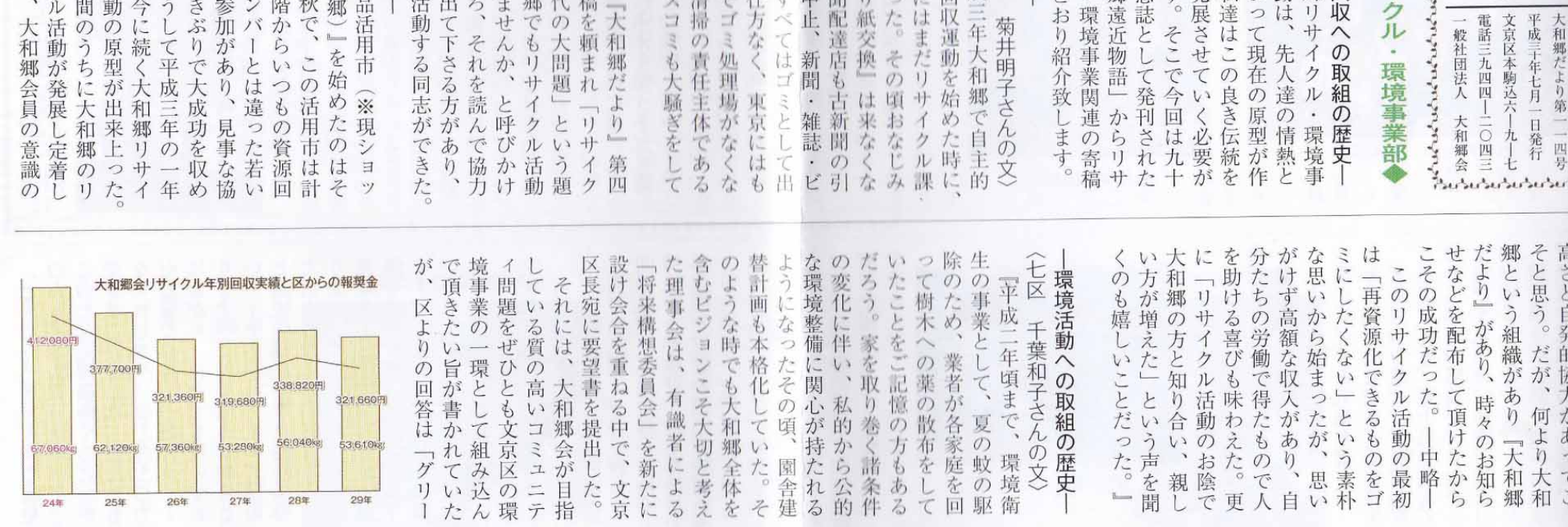
私は「大和郷だより」第四
号に寄稿を頼まれ「リサイク
ルは時代の大問題」という題
で大和郷でもリサイクル活動
を始めませんか、と呼びかけ
たところ、それを読んで協力
を申し出て下さる方があり、
一緒に活動する同志ができた
―中略―

「不用品活用品(※現ショッ
プ大和郷)」を始めたのはそ
の年の秋で、この活用品は計
画の段階からいつもの資源回
収のメンバーとは違った若い
方々の参加があり、見事な協
力・働きぶりで大成功を取め
た。こうして平成三年の一年
間に、今に続く大和郷リサイ
クル活動の原型が出来上った。
短時間のうちに大和郷のリ
サイクル活動が発展し定着し
たのは、大和郷会員の意識の

高さと自発的協力があってこ
そと思う。だが、何より大和
郷という組織があり「大和郷
だより」と書かれ、時々のお知
らせなどを配布して頂けたら
こそ成功だった。―中略―
このリサイクル活動の最初
は「再資源化できるものをゴ
ミにしない」という素朴な
思いから始まったが、思い
がけず高額な収入があり、自
分たちの労働で得たもので人
を助ける喜びも味わえた。更
に「リサイクル活動のお陰で
大和郷の方と知り合い、親し
い方が増えた」という声を聞
くのも嬉しいことだった。

―環境活動への取組の歴史―
〔七区〕 千葉和子さんの文
「平成二年頃まで、環境衛
生の事業として、夏の蚊の駆
除のため、業者が各家庭を回
って樹木への葉の散布をして
いたことを記憶の方もある
だろう。家を取り巻く諸条件
の変化に伴い、私的から公的
な環境整備に関心が持たれ
ようになったその頃、園舎建
替計画も本格化していた。そ
のような時でも大和郷全体を
含むビジョンこそ大切と考え
た理事会は、有識者による
「将来構想委員会」を新たに
設け合意を重ねる中で、文京
区長宛に要望書を提出した。
それには、大和郷会が目指
している質の高いコミュニテ
イ問題をぜひとも文京区の環
境事業の一環として組み込ん
で頂きたい旨が書かれていた
が、区よりの回答は「グリー
ンコート開発の件があり、時
期的に難しいが、大和郷の環
境と園児の安全は十分理解し
ている」と書かれた。大和郷
の緑や土木の担当であった
懇談をしてから長い時間が過
ぎた平成二十二年になって、
確かに要望したひとつが叶え
らるようになった。それは
幼稚園の脇の道路が整備され
たことである。私共が要望し
た街路樹による並木道とはな
らなかつたが、ガードの柵の
下には草花が植えられた歩道
が拡張された。園児も保護者
も赤ちゃんと一般の人々も危
険なく通つたのを見るに感
づれ、過ぎた年月の重みを感じ
るとともに多くの方々に支
えられていたことに改めて気
付かされていく。大和郷が急激
に変化していく昨今、大和郷
住民の共通の価値観が今後も
保たれることを信じ、さらな
る発展を願うのみである」

大和郷会 評議員会・通常総会審議風景
評議員会・通常総会審議風景



家族会のご案内
毎年恒例の「大和郷家族会」
を開催いたします。
お弁当の申し込みをされて
いない方は至急お願いします。
日時 七月一日(日)
午前十一時半より
場所 大和郷幼稚園 二階
リス・室・E・V有
・夏季休暇に参り、事務所
の窓口を開閉いたします。
日時 八月三日(月)
より五日(水)

大和郷の狸
節分が過ぎた頃の朝、我家
の庭の塀の上に二匹のタヌキ
が仲良く座っているのを発見
。私と目が合い、タヌキの方も
びっくりした様子でしたが、
塀から下りてきて、庭でしば
らく日向ぼっこ。その場所が
気に入ったらしくその日は三
度も出てきました。大和郷に
はハクビシンもタヌキも住ん
でいて都心でもまるで山里の
ようです。「タヌキ出て表に
驚く春の朝」ブレバットの夏井
先生に佳作として選んでいた
だいた主人の詠んだ俳句です

「生涯現役」
東京の大学を卒業後、新聞
社へ入社し、小学生からの夢
だった新聞記者になりました。
若い頃は地方を担当し、全国
で発生する殺人などの大事件
や事故の取材に当たりました。
取材のついでに、都道府県庁
のある都市すべてを回ったこ
とが、自慢です。
その後、社長に就任し、記
者としての役目は終わりました
が、数年前に引退して顧問
になったため、再び現役に戻
った気分です。ですから、大
和郷会報への「生涯現役」の
執筆依頼をいただき、大変嬉
しく、また光栄に思っております。
以前は、緊急時でもすぐに
職場へ徒歩で駆けつけること
が出来たように、千代田区に
住んでおりましたが、知人の
紹介で現在地を見に来て、私
も妻も一目で気に入りました。
大和郷に居住す
るにあたり、「大和郷遠近物語」
を頂戴しましたが、重みのある
作品で、大切に保存してい
ます。
九区 内山 齊

防火(消火)訓練
日時 三月二十四日(土)
場所 あそびはらっぱ
小石川消防署が、最近導入
した「まちかど防災訓練車」
に参ってもらい消火訓練を実施
しました。
新入会員の小島さん母子も
参加、貴重な体験をしました。

大和郷会のホームページ
12区、井口三重会員の協力を得てスマートフォン
にも対応したホームページを立ち上げました。
スマホ対応のホームページは毎月発行する「行事の
お知らせ」のQRコードからアクセスできます。
パソコン用のアドレスは
<http://www.yamato-mura.or.jp>です。
ぜひ、ご活用ください。
担当理事 岸 道郎